



広報

2019. 7 No. 157

あびら

表紙 ついに SL がやってきた！
(6月14日道の駅あびらD51ステーション)

— 目次 —

特集 D51 320 キハ183-214 道の駅到着

職員紹介	6 頁	あびらで健やか安心生活 abilife	22 頁
安平町の地方創生が新始動	10 頁	あびらで安心子育て abily	23 頁
ひと月のアルバム	12 頁	安平町職員の募集について	24 頁
未来へつなぐ	13 頁	追分高校です	25 頁
お知らせ	14 頁	早来中学校校舎再建について	26 頁
国民年金保険料の納付について	18 頁	防災危機管理コーナー・休日当番病院 他	28 頁
後期高齢者医療制度のお知らせ	19 頁	戸籍の窓口から	29 頁
「まちづくり事業支援交付金」及び「コミュニティ復興支援事業」に係る需要額調査について	20 頁	元気に大きくな～れ！	30 頁



安平町フェイスブック公式ページ
<https://www.facebook.com/town.abira>



D51 320

キハ183-214

道の駅到着



想いを紡ぎ、実った場所。

道の駅あびら D51 ステーション

ついに2台が並んだ。

SL D51 320。

安平町追分 SL 保存協力会により長きにわたり保存。

全国屈指の保存状態。

地域の人のみならず、多くの人に愛されてきた。

キハ 183-214。

2018 年春。その役目を終えた車両を“未来に残そう”と北海道鉄道観光資源研究会が保存に動いた。保存のため研究会では、クラウドファンディングによる支援者を募り、その想いに共感した多くの支援によりこの日が訪れた。

2台の車両は、2018 年9月に道の駅あびら D 51 ステーションで出会うはずだったが、9月6日の地震の発生により延期。

その後も多くの人が2台が並ぶことを信じ作業を進めた。

そして、6月16日10時ごろ。

2台の車両が並んだ。





①6月13日。現場が慌ただしくなってきた。時折、バーナーなどを使いながら吊り上げ作業の準備を進めて行く。

デゴイチは
こうして
引っ越ししてきた！



⑤ 22 時過ぎ。多くの人が待つ、道の駅に到着。デゴイチの勇姿を見ようと多くの人が集まった。



④ 21 時ごろ。トレーラーが動き出す。約4km の旅。地域の人たちが見守る中、その旅が進んでいった。



①6月15日。覆われたブルーシートを剥がすと、その下からは、国鉄色に施されたキハ183の姿が見えた。

キハは
札幌市のJR苗穂工場から
やってきた！



⑤ 16 日の深夜2時過ぎ。ようやく道の駅に到着した。デゴイチと並ぶまで、あと少し。



④ 21 時を過ぎキハを乗せたトレーラーが動き出す。「電車が道路を走る」光景に思わず振り返る人の姿もあった。



③慎重に作業が進められ大型トレーラーの荷台に。移動は夜。しばらくの間、デゴイチはお休み。



②ついにこの時が来た。現場に居合わせた方々も、宙に浮くデゴイチを記録しようとカメラを手にしていた。



⑦大きなクレーンで吊り上げて、最後は人の目と感覚で作業が進む。寸分の狂いもなく移設が完了となった。



⑥デゴイチが吐き出した煙のような雲が舞う空の下で、再び宙に浮いた。敷設されたレールに運ばれる。



③手前の1台は道の駅。奥のもう1台はもともと資料館のあった場所へ運ばれ保存される。どちらも貴重な車両だ。



②道の駅ではデゴイチが待っている。遅れはしまいと、道の駅に向かう準備が慎重に進められて行く。



⑦無事移設の完了。機関庫に眠るデゴイチが出てくれば、ようやく2台の車両が並ぶ。



⑥夜が開け作業が進められる。「無事に作業が進んで欲しい」現場はきっと、そんな思いでいっぱいだったと思う。

組織および職員紹介

令和元年7月1日時点の組織機構について紹介します。

総合庁舎

代表 ②2511

FAX ②2026

総務課 ②2511



課長 一省 田中

総務グループ

課長補佐 主幹 野田 暁



主幹 高橋 美里



主査 千葉 幹雄



情報グループ

課長補佐 主幹 松尾 仁



主幹 石山 透



主査 塩月 達也



復興・生活再建支援室

課長補佐 主事 鈴木 裕也



※北海道より派遣

派遣職員

主幹 追分福祉会へ派遣



主幹 リズム学園へ派遣



主幹 あびら観光協会へ派遣



主査 社会福祉協議会へ派遣



政策推進課

②2751



課長 直樹 木林

財政グループ

課長補佐 主幹 上田 健司



主幹 中島 国博



政策推進グループ

課長補佐 主幹 木村 誠



主査 笹山 陽平



主事 杉本 健志



税務住民課



課長 長尾 貢



参事 熊谷 泰裕

税務グループ ②2513

課長補佐 主幹 大塚 洋史



主幹 藪中 綾



主事 紺屋 裕司	主幹 村山 竜太	課長補佐 小島 和也	住民生活グループ	主事 太田 光也	主事 太細 弘規
	主査 坂井 智彰	主幹 白崎 めぐみ	☎2940		主事 鈴木 潔真

主幹 藪中 和博	課長補佐 上岡 敦	農政・畜産グループ	主幹 横谷 健	主事 下出 佳史	産業経済課
	主幹 白崎 大輔		主事 若本 英雄	参事 森池 和哉	☎2515

課長補佐 本多 義治	主幹 伊藤 富美雄	建設課	主幹 小笠原 剛	主幹 佐藤 慶一	土地改良・林務グループ
主幹 稲井 勝	課長 塩谷 慎嗣		主事 脇本 真吾	主幹 佐々木 勉	

主査 谷山 慎太郎	主幹 澤田 貴之	課長補佐 佐々木 智紀	施設グループ	技師 室山 大悟	主幹 橋詰 竜輔
主事 相澤 孝至	主査 宮本 武	主幹 大石 龍師	☎2516	主事 鳥越 翔	主査 橋本 耕太

参事 池田 恵司	課長 谷村 英俊	健康福祉課	主査 木田 奈央子	出納グループ	主事 梅原 祐一
			主事 菊地 保善		

福祉グループ

課長補佐
阿部 充幸



主査



主査



主事



米谷 直人

健康推進グループ

課長補佐
玉井 晴子



主幹

辻原 宏枝



☎297071

主幹

小坂 善朋



主査

福原 美樹



主事

國見 啓悟



※函館市より派遣

主査

関 あずさ



主事

永澤 京佳



国保・介護グループ

課長補佐
佐藤 光枝



主幹

神谷 健士郎



主幹

宮浦 優作



主査

天野 美絵



主事

板倉 孝一



早来相談センター

主幹

野村 真理



主査

添谷 育美



☎297072

保健師

上杉 雄也



保健師

杉田 良子



水道課



課長
蟹谷 光宏



参事
川崎 賢一

水道グループ

課長補佐

近藤 直幸



主幹

田畑 正人



主幹

田中 伸治



主事

米山 翔介



下水道グループ

課長補佐
佐々木 貴之



主幹

稲垣 裕之



業務グループ

課長補佐

加藤 公敏



主幹

北野 浩次



教育委員会事務局

☎297036



教育次長
永桶 憲義



参事
佐々木 英生

学校教育グループ

課長補佐

前田 繁



主幹

島山 津与志



主幹

野村 大輔



主査

白鳥 歩



主査

三上 泰明



主事

石丸 学



(給食センター)

課長補佐

島田 英一



☎23300

社会教育グループ

課長補佐

瀧井 真司



主幹

土田 和良



主事

野本 貴文



主事

山崎 友加里





事務局長
木林 一雄

議会事務局

☎262700



主事
鈴木 克幸



課長補佐
秋田 一篇



主事
中崎 凌

総合教育グループ
(追分公民館)

☎252087



主事
菊地 喜久男



主事
宮越 仁

(町民センター)

☎223224



主事
大橋 祐翔



主事
鍋嶋 貴之



総合支所長
兼 住民サービス課長
大窪 好己

住民サービス課

☎252411

FAX 253203

代表

☎252411

総合支所



主幹
有本 周平



事務局長
大木 健一

農業委員会事務局

☎222515



課長補佐
三好 章雄



主事
寺西 富美男



主幹
楽間 孝次



主幹
阿部 憲之

(窓口相談業務)



主査保健師
寺井 彩奈



主事
木下 瑞己



主幹
山口 寛子



主査
関根 正人

(包括支援センター)



主幹
田畑 喜美



保健師
伊藤 恵理華



課長補佐
石塚 一哉



主幹
武田 一倫

住民サービスグループ

(健康福祉担当)



課長補佐
岡 康弘



主幹
畑田 正宏

道の駅経営推進グループ



主事
大矢 陽子



課長補佐
山口 崇



主幹
高橋 克年

地域推進グループ



課長
村上 純一

地域推進課

☎297083



主幹
武田 美香



主幹
鈴木 慎二



退職 6月30日付け
健康福祉課
健康推進グループ
保健師 横尾 祐衣
採用 7月1日付け
健康福祉課
健康推進グループ
主査保健師 坂井 史子

町職員人事



主事
一町田 繭子



局長
尾崎 知己

安平・厚真行政事務組合
☎23151

ワクワク！ドキドキ！
がある遊び



地域おこし協力隊 遊びプロ推進員
石川 恵理さん

「ぼくらの遊び場 プレーパーク」
早来北進の森で展開中！

遊びの場を提供することを目的として、現在はプレーパーク（早来北進の森）を拠点として5月から活動しています。

前職の公立教育施設に勤めていた頃、幼児から大人までを対象とした自然体験活動を展開していました。その中で、ちょっとした仕掛けや場の設定で、子どもにスイッチが入り目を輝かせて遊ぶ姿を多く見てきた経験から、子どもたちが「遊びたい」と思えるような環境や場作りをしています。

現在は、NPO法人はやきた遊び場づくりネットワークの週末プレーパーク活動に関わらせていただいております、「遊ぶことって楽しい」と思ってもらえるような取り組みを行っていきますので、ぜひ遊びに来てください！！

詳しくは遊び場づくりネットワーク Facebook をご覧ください。



児童館行事で菜の花畑を遠足

震災からの復興に向け
令和元年 安平町の新たな取り組みがスタート
します。

安平町の地方創生が 新始動

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震の影響により安平町には『町外への人口流出』、『子育て・教育に対する不安感』、『コミュニティ・地域活力の低下』など数多くの課題が生じています。

持続的なまちづくりを進めるためには、この逆境を乗り越える必要があります。安平町を元の姿に戻すだけではなく、安平町全体が未来に向けチャレンジをしていかなければなりません。

町民自らの発想による復興に向けたチャレンジができる環境づくりが求められる中、今年度4月から地方創生推進事業として、新たな事業が始まりました。

今回、『地方創生』をキーワードに『遊び』、『学び』、『チャレンジ』を通じて、震災前よりも魅力的なまちを目指すため、地域おこし協力隊として活動を始めた3名の取り組みをご紹介します。

※本事業は2019年地方創生推進交付金を財源として実施しています。

想いをカタチに。 あびらの挑戦、始まる！



地域おこし協力隊 クラウドファンディング推進員
松岡 亮さん

いろんな「世界」に出逢う。 「あびらぼ」始動！



地域おこし協力隊 学びサポート推進員
河嶋 愛基さん

「カイトク者」を志す方、 ご連絡をお待ちしています！

「勇気をもって自分のために、誰かのために、
町のために挑戦する。」

人口の減少や震災復興という大きな課題を抱えるこの町の未来を考えると、そんな挑戦の輪を広げることが地域活性化につながるという基本的な考えのもと、安平町では、地域おこし協力隊制度を活用して、町民の皆さんがチャレンジしたいプロジェクトの創出を支援していく取り組みを始めました。こうした取り組みを、明治時代に北海道を開拓した人々になぞらえて「カイトク事業」と名づけ、クラウドファンディングによる資金調達・仲間集め・広告PRを手段の一つとして紹介・活用支援しながら、まちを盛り上げる「人・コト」を発掘していきます。

問合せ 地域推進課地域推進グループ
☎②97083

「教えない放課後教室・あびらぼ」 6月12日よりスタート

「あびらぼ」は、一般的な学習塾ではなく、思考の枠を外し、興味関心を広げ、自分自身の「軸」を見つける…「勉強」という枠組みを超え、いずれ必ずやってくるAI（人工知能）社会においても、ワクワクしながら、前を向き、「自分らしく」生きていける子どもを育てます。

将来の目標は、あびらぼを「社会の縮図」にすること。子どもから大人までの「共育空間」をプロデュースできるよう、活動を進めてまいります！

通常プログラム（早来・追分各拠点／週1回実施）のみならず、1day イベントも随時開催していきますので、ぜひ足を運んでいただき、子どもたちの様子を見守ったり、一緒に学びを深めればと考えています。



カイトク事業説明会



あびらぼ開会式で授業を模擬体験

ひと月のアルバム

地域福祉に役立てて

5月30日、あかね生き生きクラブ（編田久乃代表）が、安平町社会福祉協議会（荒木徹会長）へ車イスを寄贈しました。寄贈を受けた荒木会長は、「同クラブからの寄贈は何年も続いている。感謝して使用させていただきたい」と話しました。



サハリンから被災地へ

6月11日、被災地の激励事業として、今年行われた第28回YOSAKOIソーラン祭りに出場した、ロシアサハリンチームの皆さんが来町。昼食交流会などを通し、交流を図りました。昼食後は、はやきた子ども園を訪問。迫力ある演舞を披露するなど、園児らを楽しませてくれました。



令和初の体育祭！

中学校の体育祭の様子をお届けします。

追分中学校

たくさんの笑顔がグラウンドで見られました。



早来中学校

苫小牧市の緑が丘公園陸上競技場での開催となりました。



今月の「未来へつなぐ」では、“町内で行われた各種イベント”と“新しい取り組み”について書いてもらっています。

「この町を好きになりました!!」4回目のハシゴ酒! in 早来



ハシゴ酒乾杯時のボラセンメンバー



スナックで楽しむボラセンメンバーとイベント参加者

5月25日(土)に開催された『ハシゴ酒菜の花会～in早来～』。先月の追分地区で開催されたハシゴ酒に引き続き、今回で4回目のイベント開催となりました。過去3回のハシゴ酒に比べ、初めて参加していただいた町民の方が多く、明るく楽しい雰囲気ハシゴ酒になりました。

中でも今回初めてハシゴ酒に参加した20代の女性の方からは、『今まで安平町に住んでいて正直、自分の町を“好き”と感じたことは無かった。けど、今回のイベントを通じてたくさんの方と交流することができ、自分が知らなかった安平町の「人の温かさ」や「自然の豊かさ」などを教えてもらった。震災は良いことでは無かったけど、あの震災を機にたくさんの方がこの町に来て様々な活動をしている。そのことを今回肌で感じてこの町を誇りに思ったし、何よりこの町を好きになりました!』という嬉しいお話も聞くことができました。

町民が自分たちの町を好きになる、また、誇りに思ってくれるよう、今後も町に活力を与えられるような活動を続けていけたらと思います。

参加者過去最多!!菜の花さんぽをサポート!

6月1日(土)、2日(日)に今年で3回目となる「菜の花さんぽ」があびら復興加速実行委員会の主催で開催されました。安平町の「顔」とも言える“菜の花”を見ようと過去最多となる“15,000”人の方が全国から訪れました。復興ボラセンでは「菜の花ドライブ」、「菜の花お茶会」のサポートを行うとともに、来ていただいたボランティアさん方にも「黄色い絨毯」とも言われている安平町の菜の花を堪能していただきました。「こんな素晴らしい風景を見ることができて幸せです。」とボランティアさんが話していたのが印象的でした。



菜の花さんぽ会場にてイベント参加者をサポート



幌馬車に乗り菜の花ドライブを楽しむボランティアさん

町民の「やりたい!」を形に。 安平の“カイク”事業始まる。

6月10日(月)、11日(火)に追分ふれあいセンターい・ぶ・きにて復興ボラセンメンバーである松岡亮(地域おこし協力隊)が行う「カイク事業」の説明会が開催されました。町民の「やりたい!」という気持ちを「実現」するためにクラウドファンディング(インターネットを使って資金を募る仕組み)などを利用する事業ということで両日ともに20名ほどの方が熱心に話を聞き、新しく始まるこの取り組みに期待を寄せていました。



安平の新しい「学び」の 取り組みがスタート!

6月12日(水)復興ボラセンメンバーでもあり、元あびら未来塾塾長の河嶋愛基による安平の新しい学びの取り組み『あびらぼ』の開会式が行われました。開会式には安平町内の小・中学生、保護者の方も含め約50人が参加しました。

「あびらぼ」では学校の授業の科目とは違う自分の世界を広げるための“学び”の場を提供していきます。今後、子どもたちがあびらぼを通じてどういった成長をしていくか楽しみです。



(一社) 安平町復興ボランティアセンター

TEL: 070-3139-0374

MAIL: abira.fukkouborasen@gmail.com



復興ボランティア
募集!



今、安平を変える時。

記事提供
編集・校正
安平町復興ボランティアセンター

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ

お知らせ

ビューティーサポート R234花壇整備活動につ いて

ビューティーサポートR234とは、JR早来駅前国道234号沿線で花壇整備を行い、景観に配慮した道づくりを進める活動です。

6月6日にマリーゴールド690本の植栽を行いました。当日はビューティーサポートR234実施団体及びサポート隊の皆さん、計34名の多くの方々のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

7月の活動でも、皆さんのご協力をよろしく願います。

7月の活動(第4回目)

日時 7月18日(木)

13時30分～14時30分

内容 草取り、清掃活動

集合場所 JR早来駅前

その他 ①雨天順延(翌日同時刻)。物産館入り口に張り紙を掲示します。

②作業しやすい服装でお越しください。



ビューティーサポートR234実施団体

・東早来自治会・あけぼの自治会・あかね自治会・さかえ自治会・しらかば自治会・北町自治会・ときわ自治会・守田自治会・北進自治会・とまこまい広域農業協同組合早来支所・安平ライオンズクラブ・早来婦人会・安平町日赤奉仕団・安平建設協会・あびら観光協会・安平町商工会・安平町役場親睦会・安平町社会福祉協議会

ビューティーサポートR234サポート隊

・北海道電力(株)送配電カンパニー 苫小牧支店電力部・隊友会

問合せ 地域推進課地域推進グループ ☎297083

芸術文化鑑賞バスツアーについて

北海道立近代美術館の特別展示「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」を鑑賞するバスツアーです。

通常非公開であり、北海道初公開となる唐招提寺御影堂障壁画の展示など、東山芸術を鑑賞しに行きませんか？

日程 7月24日(水)

バス時間

(行き)

8時30分 遠浅公民館

8時45分 早来町民センター

9時 安平セイコーマー

9時 追分公民館

9時15分 追分公民館

(帰り)

15時30分 追分公民館

15時40分 安平セイコーマー

15時50分 早来町民センター

16時 遠浅公民館

場所 北海道立近代美術館、札幌市中央卸売市場(各自自由)に昼食を摂る時間を設けます)

対象 一般町民(小学生以下保護者同伴)

参加費 1,300円(当日徴収)

徴収)

定員 30名

※定員になり次第締め切り

※10名未満の場合は催行中止

募集期間 7月19日(金)まで

※受付時間 9時～17時(平日)

問合せ 教育委員会社会教育グループ ☎297036

就労生活サポートセンターいぶりからのお知らせ

就労生活サポートセンターいぶりによる相談会が行われます。

日時 7月12日(金)

追分会場…総合支所相談室 11時～12時

早来会場…総合庁舎相談室 13時～14時

相談内容 生活費が足りなくて困っている、食べるもので困っている、就職したいけれど決まらない、借金の返済で生活が圧迫されている、子どもが引きこもっているなど現在の生活に困りの方

問合せ 生活就労サポートセンターいぶり

☎0120-10910783

※電話相談も随時受付

広告欄

あなたの悩みに

すべての相談の相談料が無料になりました。

相談予約ダイヤル

0144-35-8373

平日 10:00～16:00(12:00～13:00を除く)
土曜 10:00～13:00

コタエを出します

札幌弁護士会 苫小牧法律相談センター

ココロもカラダも

ココカラ

幸せな時間

ココカラに関するオトク情報をお伝えします！

ココ・カラニュース

ビアガーデン開催！

7月最後の金曜の夜は、ここ茶屋に集まってビールで乾杯しましょう！
焼鳥を焼きながらお待ちしております♪

7/26(金) 18:00～21:00(受付20:00まで)

生ビール3杯 前売り券 1,000円(税込)

当日券 1,200円(税込)

*チケット販売先 〃ここ茶屋・新沼商店 (TEL 0145-23-2321)

生ビール1杯 400円 *食べ飲み物持ち込みOK

ここ茶屋 TEL 0145-23-2003

営業時間 11:00～15:00 定休日 土曜日

勇払郡安平町安平671-1

お弁当の注文承ります

全でのおかずが手作りのできるだけ地元や北海道で採れた食材を使用しているカラダにやさしいお弁当を毎週月・金にてお届けしています

お弁当1個 500円(税込)

*注文はお弁当の日の10時までに必ず店舗へご連絡ください。

*他の曜日の注文につきましてはご相談ください。

*場所によっては配達が可能です。注文時にご相談ください。

注文受付→ TEL 0145-23-2109(みずほ館)

営業日 月・金 9:30～16:30

安平町みずほ館 勇払郡安平町早来瑞穂1211-1

広告欄

下水道災害復旧工事に伴う 交通規制について

早来地区において、下水道災害復旧工事の実施による交通規制を行います。付近を通行される際は現場の指示に従ってください。

工事期間中は、何かとご不便ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

規制方法 片側交互通行、通行止め

規制場所

早来栄町75-1地先、早来大町176-42地先、早来大町178-13地先、早来栄町142-2地先、早来北進85-53地先
道道 千歳鶴川線
町道 早来市街ときわ団地1号線、大町北進基線、北進1号線、北進2号線、大町北進線ほか
期間 7月15日(月)～令和2年3月10日(火)
問合せ 水道課下水道グループ
☎ 22730



早来地区における工事について

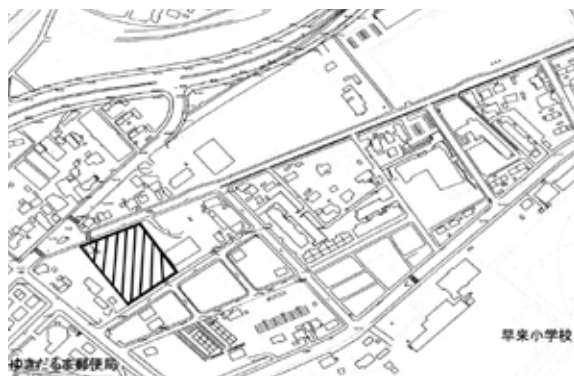
7月中旬より早来地区において工事を行います。

何かとご不便をお掛け致しますが、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

場所 勇払郡安平町早来大町144-1(ホームマックニコット早来店横)

期間 7月中旬から工事開始予定

※建設物はおおよそ3か年設置予定



工事内容 平成30年北海道胆振東部地震の災害復旧工事に係る、工事事務所および仮設宿舍の建設

施工者 宮坂建設工業(株)札幌支社(札幌市北区北14条西3丁目2番12号)

問合せ 宮坂建設工業(株)札幌支社

☎ 011-736-1821

働きたい方のための出張相談会について

とまこまい若者サポートステーションは、働きたいと思われている方に向けた就労自立支援施設です。「働きたい」を応援する無料出張相談会を開催します。

日時 7月24日(水)14時～16時

※先着順・予約可

場所 ワークプラザとまこまい(苫小牧市表町5丁目11-5 ふれんどビル3階)

対象 概ね15歳から39歳の方・ご家族

内容 就労相談、就労体験など

問合せ とまこまい若者サポートステーション

☎ 0144-8670

広告欄

ポロポロの本でも古雑誌も何でも買取いたします！
数奇縁堂 古本出張買取

- ・全ての本にお値段を付けて買取
- ・100冊ごとに500円ずつアップ
- ・梱包材不要、整理不要、自宅まで取引

安平町追分本町4丁目22番地(店長：村田)
電話：090-9439-2335
※受付時間 19時～22時(日中の着信で夜に折り返し致します)
E-mail: books-hokkaido@suukiendou.com
URL: https://suukiendou.com
【古物商】北海道公安委員会許可 第101230001111号



広告欄

有限会社 **北海道プラテック**

スタッフ急募 若干名

職種	工場内軽作業	初めての方でもできる作業です。 両面テープ貼り、発泡スチロール加工
時間	8:30～17:00(パートタイム可)	
休日	土、日、祝日(週3日程度でも可)	
時給	835円より	

TEL 0145-25-2311 担当：菅原
安平町追分弥生139番地の2

令和2年度 胆振東部消防組合消防職員採用資格試験

採用職種 消防職員（深夜業務を含む交代制勤務）

採用予定日 令和2年4月1日

採用予定人員 若干名

勤務地 胆振東部消防組合管内（安平町、厚真町、むかわ町）

受験資格

- ①高等学校卒業（短大卒、専門学校卒を含む）で、平成7年4月2日以降に生まれた方（来春卒業見込みの方を含む）
- ②普通自動車運転免許（AT限定不可）を有する方または採用予定日までに取得できる方で、採用後、勤務署所在地に居住可能な方
- ③消防職員として、職務遂行に必要な体格・体力を有し健康である方
次のいずれかに該当する人は受験できません
 - ・成年被後見人及び被保佐人
 - ・禁固以上の刑に処せられその執行を終わるまで、又は、その執行を受けることがなくなるまでの者
 - ・当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法、又は、その下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又は、これに加入した者

試験方法 胆振町村会の共同試験

第1次試験 教養試験、作文試験、一般性格診断検査及び適性試験を行います。

第2次試験 第1次試験合格者に対して面接試験を行います。（健康診断書提出）

試験日・会場及び合格発表

第1次試験 ①試験日 9月22日(日)

②試験会場 室蘭市中小企業センター（室蘭市東町4丁目29番1号） ☎ 0143 ③ 3619

③合否発表 10月中旬（予定）、受験者本人へ通知します。

第2次試験 第1次試験合格者へ合否発表時に文書通知します。

提出書類等 ・受験申込書（最近6か月以内に無帽の上半身を写したもので、本人であると確認できる写真（縦4cm・横3cm）を貼ること）

※胆振東部消防組合消防本部・総務課に直接請求するか、胆振東部消防組合ホームページからダウンロードしてください。（<http://iburil19.sakura.ne.jp/>）

・履歴書（市販のA4版用紙に自筆で記入し、受験申込書と同様に写真を貼ること）

・卒業証明書（または卒業見込み証明書）及び学業成績証明書（最終学校のもの）

・救急救命士免許証の写し（有資格者）

・自動車運転免許証の写し（取得者）

・受験票送付用封筒（長形3号封筒に住所、氏名を記入し82円切手を貼ったもの）

受付期間 7月1日(月)～7月31日(水)

※直接持参する場合は8時30分から17時15分までの平日に限り受け付け。郵送する場合は7月31日(水)の消印まで有効

問合せ・請求・申込み

胆振東部消防組合消防本部総務課 〒059-1604 勇払郡厚真町錦町47番地の2 ☎ 0145 ② 7100

高田法律事務所

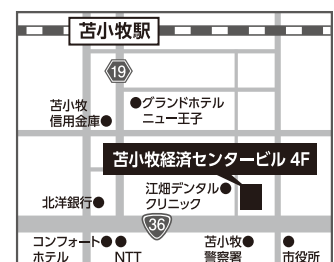
— お気軽にご相談ください。 —

無料駐車場
完備!

○交通事故 ○借金問題 ○離婚 ○相続・遺言
○民事全般 ○不動産関連 ○労働問題 ○損害賠償
○債権回収 ○企業法務 その他



弁護士 高田 耕平



広告欄

予約制 ☎ 0144-38-0114

【受付時間】平日9:00～17:30（苫小牧商工会議所が目印）
苫小牧市表町1丁目1-13 苫小牧経済センタービル4階

国民年金からのお知らせ

国民年金保険料は納付期限までに納めましょう

平成31年4月分から令和2年3月分までの国民年金保険料の月額額は16,410円です。保険料は、日本年金機構から送付される納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができるほか、クレジットカードによる納付や口座振替もあります。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、保険料の免除・納付猶予の申請手続きをお願いします。

国民年金保険料免除・納付猶予制度について

国民年金保険料が納め忘れの状態、万一、事故による障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

経済的な理由等で保険料を納付することが困難な場合には、未納のままにしないで、国民年金保険料免除・納付猶予制度の手続きを行ってください。

第1号被保険者の免除制度

所得が少なく本人・配偶者・世帯主の前年の所得が一定額以下の場合や失業した場合など、保険料を納めることが経済的に困難な場合は、申請後に承認されると保険料の納付が免除になります。

免除される額は、全額・4分の3・半額・4分の1の4種類があります。

学生納付特例制度

20歳以上の学生が申請し承認されると、保険料の納付が卒業まで猶予される制度です。学生納付特例を受けるには、大学や短大専修学校など各種学校に在学し、学生本人の前年の所得が一定額以下であることが条件です。

納付猶予制度

50歳未満の第1号被保険者が申請し承認されると、保険料の納付が猶予される制度です。納付猶予を受けるには、本人・配偶者の前年の所得が一定額以下であることが条件です。

申請手続きに必要なもの

- ・年金手帳または基礎年金番号のわかるもの
- ・印鑑
- ・学生納付特例の申請については、在学証明書または学生証
- ・失業などを理由にする場合は「雇用保険受給資格証」や「離職票」など

令和元年度分の免除申請の受け付けは7月1日から開始され、令和元年7月分から令和2年6月分までの期間を対象として審査を行います。

なお、申請日より原則2年1か月前まで遡って免除申請をすることができますので、複数年度の申請を希望される場合は、年度毎の申請書の提出が必要です。

窓口・問合せ 税務住民課住民生活グループ ☎22 2940
住民サービス課住民サービスグループ ☎25 2411

後期高齢者医療制度のお知らせ

～保険証（被保険者証）の一斉更新について～

■保険証が新しくなります

現在ご使用の桃色の保険証の有効期限が令和元年7月31日となっていますので、8月以降は使用できなくなります。7月中に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら、橙色の保険証をご使用ください。

- ・新しい保険証の有効期限は、令和2年7月31日です。
- ・紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、役場窓口までお申し出ください。

■減額認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）も新しくなります

現在ご使用の水色の減額認定証の有効期限が令和元年7月31日となっていますので、8月以降は使用できなくなります。有効期間は保険証と同じく1年間です。

引き続き交付対象に該当する方は7月中に減額認定証を交付しますので、8月1日からは黄緑色の減額認定証をご使用ください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、役場窓口へ申請してください。

※減額認定証の交付対象…次の区分Ⅰまたは区分Ⅱに該当する方

区分Ⅱ	世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税である方のうち、次のいずれかに該当する方
	世帯全員の所得が0円の方 (公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方)
	老齢福祉年金を受給されている方

■限度証（限度額適用認定証）も新しくなります

現在ご使用の水色の限度証の有効期限が令和元年7月31日となっていますので、8月以降は使用できなくなります。有効期間は保険証と同じく1年間です。

引き続き交付対象に該当する方は7月中に限度証を交付しますので、8月1日からは黄緑色の限度証をご使用ください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、役場窓口へ申請してください。

※限度証の交付対象…次の3区分のうち、現役並みⅠまたは現役並みⅡに該当する方

現役並みⅢ	住民税課税所得が690万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方
現役並みⅡ	現役並みⅢに該当せず、住民税課税所得が380万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方
現役並みⅠ	現役並みⅢ・Ⅱに該当しない3割負担の方と、その方と同一世帯にいる被保険者の方

問合せ 北海道後期高齢者医療広域連合

〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目国保会館6階

☎ 011-290-5601

令和2年度 「まちづくり事業支援交付金」 及び「コミュニティ復興支援事業」に係る需要額調査を実施しています

標記制度に係る令和2年度の需要額調査（予算要求のための事前調査）を行っておりますので、制度の活用を検討している交付対象事業がありましたら、7月19日(金)までに必要書類をご提出ください。必要書類の様式は、地域推進課地域推進グループにてお渡ししておりますので、お問い合わせください。

1 まちづくり事業支援交付金

(1)事業の趣旨等

安平町まちづくりファンド（基金）を財源として、コミュニティ団体やボランティア団体等が行う地域に密着した協働によるまちづくりを推進し、地域活動の振興を図り、まちづくりへの積極的な参加を促していくことを目的として取り組む事業に対して交付金を交付する制度です。

(2)交付の対象者

町内に住所を有する者を中心に構成されるコミュニティ団体、ボランティア団体等

(3)交付率、交付金額等

区分	交付率	交付上限額
ソフト事業	対象経費の8/10 以内	50 万円（下限5万円）
ハード事業		500 万円（下限5万円）

(4)交付対象となる事業

ソフト	①公益性を有する非営利法人化支援事業	非営利の法人化に係る経費を支援
	②公益性を有する非営利法人の育成支援事業	法人化後の活動経費を支援
	③地域づくり、ボランティア団体等の育成事業	組織強化のための研修会等
	④地域振興のためのイベント事業	実行委員会等による事業
	⑤地域文化の継承・活用のための事業	ワークショップや記録誌制作等の事業
	⑥地域資源を活用した事業	地域の魅力を伝える交流事業等
	⑦地域づくり活動に必要となる備品整備事業	自主防災組織等の備品整備
ハード	①地域防災・防犯活動等に資する施設整備事業	防災倉庫等の施設整備
	②地域の会館改修等整備事業	屋根の塗装やトイレの水洗化等
	③伝統文化の継承、歴史的施設の保全・活用に資する施設整備事業	歴史的建物を保全しながらリニューアルし、賑わい創出の拠点とする事業等
	④観光振興に資する施設整備事業	観光看板等の施設整備
	⑤選考委員会において助成対象と認める事業	プレゼンテーションを経て採否を判断

2 コミュニティ復興支援事業

(1)事業の趣旨等

まちづくり支援事業交付金の『復興事業版』として平成31年度に新設。復興の加速化を目指します。

平成30年胆振東部地震からの早期復興を図るため、自治会・町内会やボランティア団体等が復興に向けて実施する持続的な発展を見据えた地域コミュニティづくりに対して支援し、一日も早い地域コミュニティの再生を図り、震災前より魅力的な地域づくりを目指します。

(2)交付の対象者

- ① 10 名以上の町民で構成されたコミュニティ団体及びボランティア団体（自治会・町内会・農事組合、NPO 団体、各種ボランティア団体など）
- ② 町内に住所を有する非営利法人（NPO 法人、公益性を有する一般社団法人など）
- ③ その他町長が必要と認めた公共的団体（社会福祉協議会、商工会など）

(3)交付率、交付金額等

区分	交付率	交付上限額
ソフト事業	対象経費の9/10 以内	100 万円（下限5万円）
ハード事業		900 万円（下限 50 万円）

(4)交付対象となる事業

ソフト	①地域再生計画の作成	専門家による講演会の開催や計画印刷費など
	②地域の元気づくりイベントの実施	被災地域の活性化イベントの開催など
	③子どもの学びの場づくり	子どもの学習活動の場所確保など
	④ふれあいの居場所づくり	各種サロン(カフェ、健康予防等)の開催など
	⑤地域外等との交流づくり	地域外の人々を地域に招待しての相互交流など
	⑥空き地等を活用した菜園・花壇づくり	作業道具や材料の購入、震災ゴミの処分費など
ハード	①地域コミュニティ施設等の再建	地域行事等で長年利用していた施設の再建など
	②空き家等を活用した交流拠点づくり	空き家リフォーム費や必要な備品の購入など
	③地域コミュニティ施設の備品整備	地域施設の防災等に必要な備品購入など

まちづくり事業支援交付金及びコミュニティ復興支援事業に関するお問い合わせ

地域推進課地域推進グループ ☎②97083

国民健康保険制度のお知らせ 保険証の一斉更新について

保険証が新しくなります

現在ご使用の保険証の有効期限が令和元年7月31日となっていますので、8月以降は使用できなくなります。7月中に新しい保険証を送付しますので、8月から新しい保険証をご使用ください。

有効期限

新しい保険証の有効期限は、令和2年7月31日までです。

※次の要件に該当する方はご注意ください。

①令和2年7月31日までに75歳になる方(後期高齢者医療制度の適用となる方)

有効期限は、誕生日の前日

※有効期限が切れる前に後期高齢者医療の保険証を送付します。

②令和2年7月1日までに70歳になる方

有効期限は、誕生月の月末(1日が誕生日の場合は前月の末日)

※有効期限が切れる前に保険証兼高齢受給者証を送付します。

問合せ 健康福祉課国保・介護グループ ☎②97072

第21回おいわけアサヒメロンカップパークゴルフ大会

日時 7月28日(日)※雨天決行 受付:7時30分~ 開会式:8時30分

場所 安平山パークゴルフ場(追分豊栄193番地)

競技方法 36ホールストロークプレイ(使用コース:B・C・D・E)

参加料 1人2,500円(弁当・参加賞付)

申込期限 7月18日(木)

※参加される方は申込期限日(期限厳守)まで、下記へ参加料を添えてお申し込み願います。

なお、締め切り後の取り消しは参加料を返金できませんので、他の方を出場させてください。

問合せ 早来地区(阿部) ☎090-3115-7943 追分地区(田中) ☎080-1893-4216

安平山パークゴルフ場 ☎⑤2514

遠浅小開校120周年記念行事タイムカプセルの掘出しについて

遠浅小学校は今年度、開校120周年を迎えます。そこで、開校100周年記念で埋めたタイムカプセルの掘出しを行います。在校生・保護者の皆さんはもちろん、卒業生の皆さんもお集まりください。

日時 7月27日(土) 10時~ ※小雨決行

場所 遠浅小学校玄関前

問合せ 事務局(遠浅小学校 教頭 釜田) ☎②2674



地域包括支援センター主査保健師の寺井彩奈です。4月号でご紹介しました地域包括支援センターには普段から様々な相談が寄せられます。ご本人や家族、地域から相談が来たり内容も人それぞれです。周りが心配していても本人が気にしていない場合や既存の介護保険のサービスだけでは残念ながらどうにもならないこともあり、1つの困りごとから様々な困難が重なり悪循環に陥ることもあります。

地域包括支援センターに多く寄せられている相談の一例を紹介します。

あなたがAさんなら、今後どんな生活がしたいでしょうか。また家族なら、近所に住む人や友人なら、どんなことができるか、どんなことなら協力できるか一緒に考えてみましょう。

～元気がなく閉じこもりがちなAさん～

Aさんの特徴

- ・80代の女性
- ・お店を経営し人当たりもよく元気あふれる方でしたが、夫を亡くしてからふさぎこむようになる
- ・持病の膝の痛みが増し、杖を使って歩くようになってからは外に出かけることが減り、自宅に閉じこもりソファに横になることが増えている

遠方に住む息子さんは2週に1度訪れ、買い物を手伝ってくれますが、忙しくてすぐ帰らねばならず、Aさんも頼みごとが辛いようです。

そのため、食事は息子さんを買ってくれたものを冷凍して少しずつ食べています。料理も最近は鍋を焦がすことが増え、自信を失くしてしまいました。1人で食べると味気ないと食事の量も減って1日2食になり、薬を飲むタイミングがずれるため大切な血圧の薬も飲み忘れることが増え、水分も「トイレに行くのが大変」とあまり摂っていません。

膝の痛みから掃除やゴミを運ぶことができず、部屋にゴミ袋が溜まるようになったため、仲の良かった友人を招くことも減りました。綺麗にしていた庭の手入れもできず、寂しそうに外を見て過ごしています。

お風呂はなんとか週1回入っていますが、浴槽をまたぐ動作が大変で面倒になってきています。

元々お喋りすることが好きで友人に誘われて出かけたり、以前は町内会に参加し自宅隣にある会館まで歩いて行っていました。最近は約束の日にちを忘れてしまい欠席が続いています。

元々周りに頼らず自分で生活していたことや、周囲の目を気にして介護保険サービスには抵抗を感じています。



ここまでの状況であなたが想像するAさん像はどんな方でしょうか？もし自分がAさんだったら、このあとの生活をどのようにしていきたいですか？

性格も生き方も人それぞれで、周りの支え方も様々な方法が考えられます。また歳を重ねても自分らしく元気で生活し続けるために、自分でできることを続けていくことも大切です。

その人にあわせて自分らしく生活を続けていける方法を考えるお手伝いをするのが地域包括支援センターの仕事ですが、私たちだけでの支援は難しく家族や地域の皆さんの力が必要なきが多々あります。高齢化が進むにつれてこういうことはさらに身近なものになると思います。

来月はこのAさんに対する支援の一例をご紹介します。

この機会にぜひご家族やお友達と話し合ってみてはいかがでしょうか。



あびらで安心子育て

ability

abira × family 特別企画 vol.0

(制作：安平町 監修：ファイナンシャル・プランナー 星 洋子氏)

広報あびら 9月号から隔月で、特別企画「子育て世代応援プロジェクト」を開始します。特別企画では、ファイナンシャル・プランナー 星 洋子氏が執筆したコラムを掲載予定です。今回のabilityでは、導入コラムとして、「人生三大費用」と「ライフプラン」についてご紹介します。

問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751

人生三大費用って？

・教育資金

子育てで一番かかるのは教育費です。特に大学や専門学校への進学費用は、国立・私立などで差はありますが、入学金や授業料に諸費用や仕送りなどを含めると1,000万円以上かかります。



・住宅資金

マイホーム購入時には自己資金や住宅ローンに関する資金計画が必要です。購入後も税金や維持費がかかります。賃貸の場合はいつまで借りられるか更新の確認をします。住み替え時の引越し費用も意外とかかるものです。



・老後資金

長生きをすれば誰にでも老後はやってきます。老後の生活費が公的年金で足りるのか、足りないならいくら準備すればよいのかは、それぞれの家庭で異なります。若いうちからコツコツと準備を始めましょう。



ライフプランって？

将来「どう生きていくのか」や「どう暮らしていくのか」ということを考え立てる計画のこと。

毎年行うようなことは想像がつき、計画が立てやすい。しかし、5年後・10年後といった少し遠い将来の計画はなかなか想像がつかないものです。

そんな時、将来叶えたい夢などを明確化しておく、夢までの道のりが見えてきて遠い話でも現実味を帯びてくるのがライフプラン。

漠然としか見えていない将来の夢を少し現実的なものに見してみませんか？



ファイナンシャル・プランナー 星 洋子氏

特別企画は広報あびら奇数月で掲載予定です。次回はライフプランについて詳しくご紹介します！

～子育て世代向けの情報を発信～

LINE@

～LINEアプリ アクセス方法～

- ・「ID 検索」から「@abira」で検索
- ・下記「QRコード」から読み取る



～子ども成長記録を～

成長ログ

～成長ログ 利用方法～

- ・下記「QRコード」から読み取る



～多岐にわたる情報を発信～

安平町ホームページ

- ・子育て世代に向けた“安平で安心子育て”
- ・子育て支援センターの行事予定やリアルタイムな情報を随時更新



安平町職員を募集します

令和2年4月1日採用予定の安平町職員を次のとおり募集します。

募集職種	採用予定人数	年齢・資格要件
一般事務職員 (大卒者)	若干名	平成3年4月2日以降に出生し、学校教育法に基づく大学(短大を除く)を卒業した方、または来春卒業見込みの方
一般事務職員 (高卒者)	若干名	・平成11年4月2日以降に出生し、学校教育法に基づく高等学校を来春卒業見込みの方
一般事務職 情報通信技術担当	1名	概ね25歳未満の方で、高等学校以上を卒業し、次のすべての要件を満たす方 ・基本情報技術者の資格を有する方、または採用日までに取得見込みの方 ・民間企業等における社内情報システムの運用保守等について2～3年程度実務経験がある方
専門職 精神保健福祉士	1名	概ね30歳未満の方で精神保健福祉士の資格を有する方、または、採用日までに取得見込みの方
技術職 農業土木技師	1名	概ね35歳未満の方で、高等学校以上を卒業し、次のすべての要件を満たす方 ・1級もしくは2級土木施工管理技士の資格を有する方 ・農業土木技術者(土地改良事業)としての、実務経験が5年以上ある方

※ 共通受験資格として採用後に安平町内へ居住することが条件となります

※ 普通自動車運転免許を保有している方、または採用日までに取得見込みの方

※ 地方公務員法に規定する欠格条件に該当する方は、試験を受けることができませんのでご注意ください
(詳細については、総務課総務グループへお問い合わせください)

試験日程及び試験内容等

試験期日	試験内容	試験会場
9月22日(日)	<大卒者試験> 教養試験(120分) 論文試験(60分) 適性検査(20分)	室蘭市中小企業センター 住所 室蘭市東町4丁目29番1号 ☎ 0143-433619 ※第1次試験は、胆振管内共同試験として実施します。 ※第1次試験の合格発表は、10月上旬に、直接受験者に行います。 ※第2次試験以降の日程等については、第1次試験合格の通知の際にお知らせいたします。
	<高卒者試験> 教養試験(120分) 作文試験(60分) 適性試験(10分) 適性検査(20分)	

受験手続きについて

(1) 応募方法

次の書類を添えて応募してください。

- ① 受験申込書(最近6か月以内に帽子を被っていない上半身を写したもので、本人であると確認できる(写真縦4cm・横3cm)を貼ること)
- ② 卒業証明書または卒業証書の写しもしくは卒業見込証明書
- ③ 履歴書(町指定の様式を使用すること。なお、受験申込書と同様に写真を貼ること)
- ④ 返信用封筒(長形3号封筒に住所、氏名を記入し、82円切手を貼ること)

※受験申込書・履歴書は、総務課総務グループに直接請求するか、町ホームページからダウンロードしてください。

(2) 受付期間

7月31日(水)まで

※直接役場に持参する場合は、8時30分から17時15分までの平日に限り受け付け

※郵送の場合は、7月31日(水)の消印有効

問合せ・請求・申込み 総務課総務グループ ☎ 059-1595 安平町早来大町95番地 ☎ 22511
URL <https://www.town.abira.lg.jp/>



追分高校です

放送局が快挙！

全道大会へ

5月17日に行われた、北海道高等学校文化連盟第43回全道高等学校放送発表大会兼第66回NHK杯全国放送コンテスト北海道大会苫小牧地区大会朗読部門で、3年生の三村葵が第5位、テレビドキュメント部門で本校が制作した「胆振東部地震、あれから」が第3位と、2部門で全道大会への出場権を獲得しました。全道大会は6月18日(火)から21日(金)に帯広市民文化

ホールと十勝プラザで行われます。

放送局員からは、「前回の順位を越えられるように頑張ります」と抱負を語ってもらいました。普段通りの力を発揮して、追分高校の名を広めてもらえればと思います。

安平町誘致企業会

就職懇話会

6月7日、安平町誘致企業会による「就職支援懇話会」が3年生を対象に行われました。安平町誘致企業会は、安平町を拠点とする56社の企業で構成され、大場正志(株)鋼商代表取締役が会長を務める団体です。来賓に安平町教育委員会教育長種田直章様、同じく前田繁様、山崎友加里様をお招きして行われました。

「就職支援懇話会」は、生徒たちに社会人としての心構え等を助言していただき、就職や企業に対する理解を深める行事です。全体会では、玉造株式会社取締役常務総務部

本部統括CKO・畑中臣斌様から、企業が求める人材や社会人として必要なことな

ど、すぐに取り組まなければならない内容もあり大変参考になるお話をいただきました。その後、生徒は5つのグループに分かれ、複数の企業の方々からのアドバイスを受け、各グループワークでは、真剣な眼差しで経営者の方々の助言を聞いていました。

就職試験解禁は9月16日ですが、生徒たちは試験に向けてスタートを切った様子でした。

輝く！追高のセンパイ

本校を卒業して日々頑張っている先輩たちを紹介しています。今回は、(株)ロンドへ就職した澤井友香さんです。



Q1 新しい生活はどうですか？

社会人になってからも学ぶことが沢山あり、覚えること

で精一杯でしたが仕事を楽しめて一日があつという間です。

Q2 追高時代のいちばんの思い出はなんですか？

見学旅行です。より仲が深まり楽しかったです。

Q3 高校時代にやっておくべきことは何でしょうか？

勉強とボランティアと部活。たくさんの場面で学ぶことがあるのでボランティアなど参加したほうが良いです。

Q4 高校時代にやっておいで良かったことはなんですか？

ボランティアと部活。色々な人との交流でコミュニケーションが高まり、今仕事でも役立っています。

Q5 追高生にメッセージを！

一日一日を大切にしてお悔しい楽しい生活をしてください！

▼7月の主な行事予定

12日 学校祭(13日)

19日 進路出陣式(3年)

地域清掃ボランティア

(2年)

27日 夏季休業(8月18日)

▶皆さんのご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎2555)

〒059 - 1911 安平町追分本町7丁目8番地
ホームページで「追高の今」をご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校

早来中学校 校舎再建に関して

平成 30 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震により、早来中学校は大きな被害を受けました。現在は、仮設校舎にて教育活動が行われているため、平常時より制約のある中で活動しています。「校舎の再建」に関して、これまでの経過を整理して皆様にご説明します。

經緯

- 地震の被害は、校舎と体育館、さらに敷地までに及ぶものとなりました。
- 専門家の意見などを踏まえ、移転による再建を目指すこととしました。
- 移転先は、早来小学校周辺を選定し、用地を取得しました。
- この間、住民の皆様との意見交換の場を設け、再建に向けた議論を進めてきましたが、議論がさらなる議論が必要とのご指摘もいただいているところです。
- 校舎再建のご意見・ご指摘を踏まえ、当初目標としていた「令和3年中」としていた完成を「令和4年中」へ変更しました。



早来中学校開校は令和4年以降になります

平成30年(2018年)度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
										基本調査	
令和元年(2019年)度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本計画(構想)				基本設計							
令和2年(2020年)度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施設計											
令和3年(2021年)度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			建築工事								
令和4年(2022年)度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建築工事							備品整備 引越し	使用 開始	既存校舎解体		

◆議論の内容◆

度重なる議論を経て、次の点が明らかになっています。

(1) 議論から導き出されたこと

- 早く、そして、無駄のない経費で再建すること
- 校舎は、小学校と中学校の一体化で検討すること

[理由]

- ・制約のある環境を一刻も早く取り戻す必要があること。
- ・小学校及び中学校を一体化した校舎とすることで教育的効果が高まること。
- ・早来小学校の老朽化が進んでいるため、中学校単独の再建よりも小・中一体化の方が将来的な町の経費を節約できること。

(2) 議論から見てきた課題

- 町の費用負担をどう捻出するのか？
- 安平小学校と遠浅小学校はどうなるのか？

早来小学校・中学校以外の学校の老朽化している現状を踏まえ、今後の対策を考えていく必要があります。また、安平小学校や遠浅小学校との「格差」を生じさせない仕組みを検討する必要があります。

ポイント

安平小学校と遠浅小学校の統合は、現時点では検討しません。理由は、中学校再建と両方考慮すれば協議や作業でより多くの時間が必要です。統合の問題は、今後の両校の児童数の推移に基づき、再建の議論とは別に検討していきます。

◆今後の対応◆

住民監査請求におけるご指摘内容を含め、「周知不足」・「内容がよく判らない」といったご指摘をいただいている現状があります。これらのお声を反省材料として、今後は次のとおり進めていきます。

- 「新しい学校を考える会」での協議手順・協議内容の充実
- 学校再建をテーマとした討議の場の新設
- 学校運営協議会（コミスク）の活用

これまで実施してきたワークショップ形式による「考える会」を今後も継続してより多くの方々に参加していただきながら、常任の委員を置いた形での討議の場を設置し、地域の幅広い分野の方々が参画する各学校・子ども園の「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」に審議会的役割りを担っていただき議論を加速させます。

◆まとめ（方向性の再確認）◆

「早く」そして「無駄のない経費」を目標に、皆様のご意見をしっかり踏まえながら今後の議論を進めていきます。

防災・危機管理コーナー

警戒レベルを用いた避難勧告等の発令について

災害時に、居住者等が情報の意味を直感的に理解できるよう防災情報を５段階の「警戒レベル」により提供し、情報と行動の対応を明確化することとなりました。

警戒レベルと居住者等がとるべき行動は以下のとおりです。

警戒レベル	居住者等がとるべき行動	行動を居住者に促す情報	
警戒レベル５	【命を守る最善の行動】 既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報 ※可能な範囲で発令	安平町が発令
警戒レベル４	【全員避難】 ・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋への移動等の緊急の避難をする。	・避難勧告 ・避難指示（緊急） ※避難指示（緊急）は、緊急的または重ねて避難を促す場合に発令	
警戒レベル３	【高齢者等は避難】 避難に時間のかかる高齢者等の要配慮者は立退き避難する。その他の人は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・高齢者等避難開始	
警戒レベル２	【避難行動の確認】 ハザードマップ等により災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等の再確認、避難情報の把握手段などの再確認・注意など避難に備え自らの避難行動を確認する。	注意報	気象庁が発表
警戒レベル１	【心構えを高める】 防災気象情報等の最新情報に注意するなど災害への心構えを高める。	警報級の可能性（早期注意情報）	

【避難情報発令の例】

「〇〇地区に土砂災害に関する警戒レベル４、避難勧告を発令しました。」等

北海道から 北海道苦情審査委員制度のお知らせ

道が行った業務や制度により、利害に関わる苦情があれば「北海道苦情審査員」制度による申し立てが行えます。苦情審査委員が公正で中立的な立場から、道の関係機関に対し必要な調査等を行い、業務に不備な点や制度に問題があるときは、是正や改善を求めます。詳細はお問い合わせください。

苦情申立窓口 道庁（道政相談センター）、各総合振興局（総務課）

申立方法 ①各窓口を設置しているリーフレット内の苦情申立書に記入し提出

②北海道のホームページ＞総合案内＞道政相談等の窓口 からお進みください

問合せ 北海道総合政策部知事室道政相談センター

☎ 011-204-5523 FAX 011-241-8181 メール kujyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp

【苫小牧医師会】日曜・祝日当番病院（市外局番 0144）

月 日	内科		外科	
	病院名（住所）	電話	病院名（住所）	電話
7月	7日(日) 沖医院（旭町4）	(32) 8870	勤医協苫小牧病院（見山町1）	(72) 3151
	14日(日) いまい内科クリニック（双葉町1）	(37) 8686	同樹会苫小牧病院（新中野町3）	(36) 1221
	15日(月) 苫小牧消化器外科（北栄町3）	(51) 6655	苫小牧消化器外科（北栄町3）	(51) 6655
	21日(日) 浪岡内科消化器科クリニック（東開町4）	(51) 2811	苫小牧日翔病院（矢代町2）	(72) 7000
	28日(日) たかぎ内科・循環器内科（北栄町1）	(53) 7700	ケーアンドエークリニック（日新町2）	(71) 2000
8月	4日(日) 吉川医院（表町5）	(34) 4565	光洋いきいきクリニック（光洋町1）	(71) 2700

安平町ホームページでは、苫小牧歯科医師会の休日当番医も確認することができます。

URL = <https://www.town.abira.lg.jp/kurashi/yakan-kyujitsu>

戸籍の窓口から

※戸籍の窓口で掲載の確認ができた方を掲載しています。

〇お誕生おめでとうございます

なかむら	中村	サクラちゃん	(女・真希)	5/24	早来大町
わきもと	脇本	英菜ちゃん	(女・真吾)	5/30	早来大町
きたき	木瀧	壮亮ちゃん	(男・将之)	6/16	遠浅

〇お悔やみ申し上げます

きくち	菊地	和治さん	(80)	安平	6/3
ふちはた	渕端	勇さん	(87)	早来北町	6/8
たけはら	竹原	彰さん	(93)	早来大町	6/11
あらで	新出	ミヨさん	(97)	早来富岡	6/13
みずはし	水橋	繁雄さん	(86)	追分美園	6/15
くぼ	久保	ハナさん	(100)	早来北進	6/16
ただ	高田	スサさん	(102)	安平	6/17
こだま	児玉	忠雄さん	(83)	追分花園	6/20

〇ご結婚おめでとうございます

つばうち	坪内	謙介さん	(早来大町)
ゆうき	柚木	風香さん	(早来大町)

〇善意

- ・一般寄付
福岡桜ライオンズクラブ から町立小中学校へ
(長座体前屈測定器2台、デジタル握力計3台)

※社会福祉協議会に寄せられた「善意」は、社協だよりをご覧ください。

ふるさと納税 (合計寄附件数)

安平町は、たくさんの方に応援いただいています。
・4,937 件 (金額 54,818,400 円)

「経済センサス-基礎調査」を実施しています

総務省統計局・北海道・安平町では「経済センサス-基礎調査」を実施しています。

この調査は、我が国のすべての産業分野における事業所の活動状態等の基本的構造を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の母集団情報を整備することを目的としています。

調査は、調査員が全国すべての事業所の活動状態を実地に確認し、新たに把握した事業所など一部の事業所には調査票を配布することにより行います。

皆様の調査へのご理解・ご回答をよろしくお願い申し上げます。



サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

サマージャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

7月2日(火)2種類同時発売!

発売期間 7/2(火)~8/2(金)

公益財団法人 北海道市町村振興協会

安平町選挙管理委員会からのお知らせ

6月26日の臨時閣議において、7月4日公示、21日投開票の日程で、「第25回参議院議員通常選挙」が行われることが決まりました。

本選挙に際し、7月10日(水)に選挙公報の臨時各戸配布を行います。広報配布を行う皆さまには、お手数おかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

期日前投票 7月5日(金)~7月20日(土) 8時30分~20時

投票日 7月21日(日) 7時~20時 ※開票は同日21時から町民センターホールにて行います。

問合せ 安平町選挙管理委員会 ☎2511

編集後記

先月の編集後記で「情報盛りだくさん!」というような内容のことを書きました。しかし今回は、前回を上回る記事量に。各種メディアも多く報じていた「道の駅へのSLの移設」などを特集として取り上げています。どんな様子でSLが運び込まれたのか?ぜひご覧ください。(誠)

~ぬくもりの湯からのお知らせ~

7月・8月は休まず営業します!

スタンプ2倍デーはスタンプカードを忘れずに!

☆シルバーデー (毎週木曜日)

☆夫婦の日 (毎月22日)

☆風呂の日 (毎月26日)

問合せ ぬくもりの湯 ☎2968

(営業時間 11時~22時)

元気に 大き な～れ！



松島琉牙くんと
お父さんの慧さん
(東早来)



渡辺 凛ちゃんと
お母さんの麻希さん
(早来大町)



小川織朱鷺ちゃんと
お父さんの仁史さん
(追分花園)

**CHILD
&
FATHER
MOTHER**

7月の行事予定・広報配布日

7 / 5 (金)	参議院議員通常選挙期日前投票開始 (～ 20 日)	7 / 21 (日)	参議院議員通常選挙投開票日
7 / 6 (土)	第 11 回あびら夏！うまかまつり (～ 7 日) ※例年と会場が異なります(ときわ公園屋外スケートリンク)	7 / 22 (月)	弁護士無料法律相談 (午前：厚真 / 午後：早来)
7 / 8 (月)	弁護士無料法律相談 (午前：追分 / 午後：厚真)	7 / 26 (金)	高齢者スポーツ大会 (町民センター)
7 / 11 (木)	セーフティコール (早来地区)	7 / 27 (土)	町民ラジオ体操会 (研修センター前・いぶき前)
7 / 19 (金)	セーフティコール (追分地区)、J A ホルスタ インショウ (北海道ホルスタイン共進会場)	7 / 30 (火)	ホッカイドウ競馬安平町優駿の里パワフルデー
【次回広報配布日】 ・ 広報笑顔 (スマイル) 7 月号：7 月 22 日(月) ・ 広報あびら 8 月号：8 月 5 日(月)			

マチの人口・世帯 (令和元年 6 月 30 日現在)

総人口 7,890 人 (－ 11) 男性 3,921 人 (－ 8) 女性 3,969 人 (－ 3) 世帯数 4,145 世帯 (－ 8)

※交通事故死ゼロ運動の日数は、交通安全だよりをご確認ください。

発行

安平町 企画編集／総務課情報グループ

059・1595

勇払郡安平町早来大町 95 番地 (0145-22511)